



令和3年7月1日発行

●新型コロナウイルスワクチン接種に関する福祉環境常任委員会の集中審査について

6月定例会では、ワクチン接種に連日対応されている担当職員の負担軽減のため、一般質問においてはワクチン接種関連の質問を自粛しましたが、市民の皆様にはワクチン接種の現状を詳しくお知らせするため、福祉環境常任委員会では市長出席のもとで集中審査を行いました。

【主な審査内容】

問 65歳以上の予約を電話予約のみとし、ネット予約を取り入れなかった理由について。

答 ワクチンの確保が不透明な状況の中で通知の発送を急がねばならず、ネット予約システムの確立に時間を要することなどから導入しませんでした。

なお、64歳以下の予約ではネット予約を導入します。

問 65歳以上を一括で受付したことについて。

答 65歳以上は基礎疾患も多く、ご家族一緒に接種ということも考慮して一括としましたが、予約に相当の時間を費やしてしまいましたので、今後の予約受付では接種券の配布や予約方法など反省点を活かしていきます。また、65歳以上で未接種の方は、引き続き予約ができますので、接種を希望される場合はコールセンターに電話をしてください。

問 市内のワクチン接種における、アナフィラキシーの発生状況について。

答 重篤な事例は出ていません。

問 キャンセルが出たときの対応について。

答 当日キャンセルの場合は、接種の従事者を優先して無駄が出ないように接種しています。また、千曲市独自の取り組みである「ワクチンロスなくし隊」に登録いただいている方にも順次お願いしています。

問 64歳以下の接種スケジュールについて。

答 年齢区分をして6月下旬から順次接種券を発送し、7月下旬頃から接種を開始する予定です。接種券発送の年齢区分は60歳～64歳、50歳～59歳、40歳～49歳、30歳～39歳、16歳～29歳とする計画で、国の手引書に沿い、基礎疾患のある人、高齢者施設等の従事者などを優先します。

また、65歳以上の方で8月に1回目を予約されている方については、今後、県から派遣される医師や看護師により増設する接種会場の準備が整い次第、7月中の接種へ変更していただくようコールセンターから対象者に連絡をしていきます。

国が示す65歳以上の接種がおおむね7月末までに完了するよう進めていきます。

3月定例会において継続審査となっていた請願について、6月定例会での「採決結果」をお知らせします。

●競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう
求める請願

6月7日の本会議で採決の結果、賛成少数で不採択。

6月7日から6月24日まで行われた6月定例会の最終日において請願を賛成多数で採択したことに伴い、委員会からの提案で提出された議案の内容と「採決結果」をお知らせします。なお、6月定例会の詳しい内容は8月1日発行予定の「議会だよりNo.80」をご覧ください。

●選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を求める意見書

2018年2月に内閣府が公表した世論調査では、夫婦が望む場合に結婚後も男女がそれぞれの姓を名乗ることを可能とする「選択的夫婦別氏（姓）」を導入するための法改正に賛成・容認と答えた国民は66.9%となり、反対の29.3%を大きく上回ったことが明らかになりました。

少子高齢化が進む現在においては、一人っ子同士のカップルや、子連れ再婚、高齢での結婚も増えており、改姓を望まない場合も少なくありません。また、改姓を強制されるため結婚を諦める人が4%おり、非婚、少子化に繋がる要因の一つとなっています。

夫婦のどちらかが改姓をしなければ婚姻できない現制度では、自己同一性の喪失による苦痛、法的根拠がない旧姓を使用するためのコストの増加、姓を維持するために法的な保障が少ない事実婚の選択などの問題が生じています。

このような日本の現状に対し、国連からは民法を見直すことを記した3回の是正勧告が出されています。また、平成27年12月の最高裁判決においては、選択的夫婦別姓制度について民法の見直しが国会に委ねられました。しかしながら今日に至るまで国会での議論が進まない状況にあります。

よって、千曲市議会は、国および政府に対し、結婚の際に同姓を強制することによって生じる問題を解決し、同姓を希望する人たちの権利も損なわない「選択的夫婦別姓制度」の法制化について、積極的な議論を推進するよう求めます。

採決結果 — 全会一致で可決

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣

千曲市議会だより

発行/長野県千曲市議会 TEL026-272-0199 (直通) FAX026-272-0765

HP <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail gikai@city.chikuma.lg.jp

発行責任者/千曲市議会議長 和田英幸 編集/議会広報特別委員会